

農 林 委 員 会 委 員 協 議 会 記 録

1 会議の日時	令和4年11月18日	開 会 午後 0 時 5 9 分 閉 会 午後 2 時 0 9 分
2 会議の場所	企 画 経 済 委 員 会 室	
3 出席者	委 員	委員長 広瀬 修 副委員長 平野 祐也 (藤 墳 守) 渡 辺 嘉 山 森 正 弘 野 島 征 夫 山 内 房 壽 () 内は欠席委員
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	係 長 市 橋 ますみ 主 査 水 野 恵	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1 内水面漁業の現状について 参考人 郡上漁業協同組合 組合長 白瀧 治郎 氏		
2 岐阜県水産業振興計画の策定について		
3 岐阜県有機農業推進計画の策定について		
4 岐阜県スマート農業推進計画〔第2期〕の策定について		

6 議事録（要点筆記）

○広瀬 修委員長

それでは、ただいまから農林委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るために開催したものである。議題は、お手元に配布した次第のとおりである。本日は、執行部のほか、議題について、報告いただくため、郡上漁業協同組合組合長の白瀧治郎様に出席いただいている。

なお、本日は、議題1と議題2が関連するため、議題1に引き続き、議題2の説明を受け、その後、質疑とする。

最初に議題1の内水面漁業の現状について、白瀧様から報告をお願いします。

（参考人説明：郡上漁業協同組合組合長 白瀧 治郎 氏）

○広瀬 修委員長

続いて、議題2の岐阜県水産業振興計画の策定について、執行部から説明をお願いします。

（執行部説明：金武里川振興課長）

○広瀬 修委員長

議題1及び議題2の説明に対して、質疑はないか。

○平野祐也副委員長

集出荷事業について、組合員・遊漁者ともにほとんどが自家消費用として鮎釣りをしているとのことだが、郡上漁業協同組合アユ出荷所の鮎は、どのように収集しているのか。

○白瀧参考人

PRにより集出荷事業が次第に根付き、釣り人が夕方に、漁業協同組合事務所まで生きた状態で持ってきてくれるようになった。

○平野祐也副委員長

組合員の中で、漁業のみで生計を立てている人はどのくらいいるか。

○白瀧参考人

1人もいない。かなり稼ぐ人でも夏場のアルバイトのような感じである。戦前・戦後のわずかな時期のみ生計を立てる人がいたという認識である。

○平野祐也副委員長

漁業協同組合収入のうち、遊漁者からの収入（遊漁料）と組合員からの収入の割合はどうか。

○白瀧参考人

割合では出しにくい。郡上漁業協同組合のおおよその数字では、遊漁料7,000～8,000万円、組合員からの収入2,000～3,000万円が漁業協同組合を運営する上での最低ラインで、これ以上ないと全ての事業が運営できない。内水面漁業の場合は、遊漁者に来てもらわないと立ち行かない。

○平野祐也副委員長

漁業協同組合が活動休止した場合、その漁業協同組合が管理していた漁場は他の漁業協同組合が吸収するのか。

○金武里川振興課長

自由漁場として県管理になる法律の組立てである。

○野島征夫委員

清流長良川で一番懸念されるのは、高鷲の大根を洗浄した際の濁りである。沈砂池が整備されてしばらくは濁りもなかったが、管理が行き届いておらず最近あふれているようだがどうか。

○白瀧参考人

沈砂池整備や様々な農法の導入など対策がなされた当初は清流が復活したが、ここ数年、沈砂池にたまった泥が豪雨時にあふれている。同じ農林漁業者でもあるので、メンテナンスをしてもらえればと期待している。

○山内房壽委員

70歳以上は遊漁料を値下げしていると聞いているが、若者を取り込むために若年層の遊漁料を値下げしてはどうか。

○白瀧参考人

郡上漁業協同組合の場合、25歳未満と女性、高齢者には減免措置を講じている。さらに、高校生以下は無料としている。今後、70歳以上が半数を占める見込みなので、高齢者よりも若年層への値引きを検討していきたい。

○山内房壽委員

親子でキャンプをしながら鮎かけを体験してもらおうなど、子どもが将来鮎釣りをできる環境づくりも必要ではないか。

○白瀧参考人

参考にしたい。

○広瀬 修委員長

新たなカワウ対策指針の策定状況はどうか。

○若山農村振興課長

専門家などから成る検討会を開催しながら、見直しを行っているところである。現在、岐阜県漁業協同組合連合会などの関係者から意見を聴取したところであり、年度内の改定を予定している。

○広瀬 修委員長

新たなカワウ対策指針ではどのような見直しを行うのか。

○若山農村振興課長

取組ごとの具体的な内容やICTなどの新技術の活用方法、各関係者の役割分担を新たに示すこととしている。

○野島征夫委員

県では若者に人気のルアー人口を取り込むことを漁業協同組合の収入増加の重点施策と位置付けているが、岐阜県漁業協同組合連合会も同じ考えか。

○金武里川振興課長

鮎ルアーなど、ルアー人口の取り込みについては、長良川以外で鮎漁場の維持が難しい漁場への導入について、岐阜県漁業協同組合連合会とも相談し、支援の方法を検討している。

○白瀧参考人

鮎ルアーに新規参入した人の7割が友釣りに移行すると釣り具業界から聞いているので、私としては県全体の取組みとして鮎ルアーも推奨したい。ただし、郡上では友釣りの聖地として、ルアー、リール釣りの禁止を堅持するつもりでいる。

○広瀬 修委員長

多様な釣り漁場を整備することで、世界農業遺産への影響はないのか。

○金武里川振興課長

認定地域の岐阜市、関市、美濃市及び郡上市は鮎漁中心とし、4市以外で漁業協同組合維持のための多様な漁場づくりをするので、認定は維持される。

○広瀬 修委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって質疑を終了する。

次に、岐阜県有機農業推進計画の策定についてを議題とし、執行部から説明をお願いする。

(執行部説明：大橋農産園芸課長)

○広瀬 修委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○平野祐也副委員長

県有機農業推進計画でいう有機農業は、有機JASの認証基準と同じとの認識で良いか。

○大橋農産園芸課長

県計画では、有機農業の推進に関する法律に基づき、化学合成された肥料及び農薬を使用しないことと、遺伝子組み換え技術を使用しないことと定義している。有機JASの認証基準の方が県有機農業推進計画よりも厳しく、有機JASの認証基準を満たしていれば県有機農業推進計画でいう有機農業にも当てはまる。

○平野祐也副委員長

県有機農業推進計画の定義と、国のみどりの食料システム戦略の有機農業の定義は一致するか。

○大橋農産園芸課長

国のみどりの食料システム戦略では有機農業の明確な定義が示されていない。

○広瀬 修委員長

ほかに、質問はないか。

(「なし」の声あり)

○広瀬 修委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって質疑を終了する。

次に、岐阜県スマート農業推進計画第2期の策定について、執行部から説明をお願いする。

(執行部説明：後藤スマート農業推進室長)

○広瀬 修委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○森 正弘委員

農業DX指導者について、誰が誰に対し、何を指導するのか教えてほしい。

○後藤スマート農業推進室長

農業DX指導者は、データを活用した農業を行う農業者を指導する。県の普及指導員を対象に、座学や生産ほ場を活用した現場実習を行う研修を行い、育成する。

○森 正弘委員

どのように募集するのか。

○後藤スマート農業推進室長

普及指導員の中で、施設園芸であるトマト、いちごなどを担当している職員に対して実施する。

○野島征夫委員

スマート農業を進めると稲作はどのように変わるのか。

○後藤スマート農業推進室長

例えば、ドローン防除は従来より7割の作業時間の削減に、直進アシスト田植機の活用は田植時の作業時間の削減やオペレータの疲労度削減につながる。

○野島征夫委員

今は、農業協同組合が小さいヘリコプターを飛ばして防除し、コンピュータが入った田植機はハンドル操作がなくとも真っ直ぐ行くようになっているが、これがさらに何か変わるのか。

○後藤スマート農業推進室長

ハンドル操作がなくとも真っすぐ進む田植機は衛星情報を活用したもので、徐々に普及が始まっているスマート農業技術の一つである。

○広瀬 修委員長

平坦地の広い水田から、山間の段々田など地域によって条件が違う。どうやって区別して進めていくのか、考えながら進めてほしい。

○広瀬 修委員長

ほかに、質問はないか。

(「なし」の声あり)

○広瀬 修委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって質疑を終了する。

他に意見等はないか。また、執行部はいかがか。

(発言する者なし)

○広瀬 修委員長

意見もないようなので、これをもって、本日の委員協議会を閉会する。

農林委員会配席図【農政部】

令和4年11月18日
企画経済委員会室

			河尻 農政課 技術総括監		小川 家畜防疫対策課 野生いのしし対策 室長		加藤 農地整備課 農地防災対策 室長	
	中村 農政課 笠松競馬支援室長		桑畑 畜産振興課 飛騨牛銘柄推進 室長		富田 農業経営課 担い手対策室長		後藤 農政課 農業研究企画監	
	後藤 農政課 スマート農業 推進室長		板垣 農地整備課長		金武 里川振興課長		桑田 里川振興課 水産振興室長	
	若山 農村振興課長兼 鳥獣害対策室長		長屋 畜産振興課長		大橋 農産園芸課長		高井 家畜防疫対策 課長	
	井戸 農業経営課長		勝野 検査監督課長		幸畑 農政課長		高木 農産物流通 課長	
	深谷 農政部 農業技監		杉下 農政部次長		雨宮 農政部長		足立 農政部次長	

入口側

野島 委員
渡辺 委員
平野(祐) 副委員長

○
○
○

○
○
○
○

山内 委員
森(正)委員
藤壇 委員
広瀬 委員長



スクリーン